



一生懸命、稲を刈る児童たち

2校合同で稲刈り体験！

舩作地区の田んぼで、深浦小学校の5年生13人といわさき小学校の5・6年生12人が稲刈りを体験しました。

稲刈り前、吉田来夢（らいむ）くん（深浦小学校5年）が、「今日は稲を育ててくれた村上哲也さんに感謝して稲刈りを頑張ります」とあいさつをした後、春に自分たちで田植えをした稲を次々と刈り取っていきました。鈴木柊音（しゅうと）くん（いわさき小学校5年）は「とても楽しかった！稲を刈ったり、束ねたり、運ぶのを素早くできてよかった」と感想を語りました。

9/24

秋田県八峰町と災害時における相互応援に関する協定を締結

深浦町は秋田県八峰町と災害時における相互応援に関する協定を締結しました。この協定は、県境を挟んで隣接する両町が、災害発生時に食料や飲料水、生活必需品の提供や、救援・救助活動への協力、復旧に必要な職員の派遣など、互いに応援し支えていこうとするものです。

町民文化ホールで行われた締結式では吉田町長と堀内町長が協定書に署名し、吉田町長は「県内の自治体間で災害時応援協定を締結しているが、県境を挟んで隣り合う自治体間で応援し合うことができれば、緊急時の初期対応が円滑に進むと考え、今回の協定締結に至った」と協定締結の意義を語りました。

9/24



署名した協定書を手にする吉田町長（左）と堀内町長（右）

コミュニティ助成事業助成金（地域防災組織育成事業）で備品を整備しました！

この度、追良瀬自治会では、令和4年8月の豪雨災害により、地区内の一部が冠水したことから、宝くじの受託事業収入を財源とする「コミュニティ（宝くじ）助成事業（一般社団法人自治総合センター）」の助成金を活用し、地域の防災力向上のため、エンジンポンプや水中ポンプなどを整備しました。

今回整備された備品



みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

まちかどウォッチング



『ロバ隊長』づくりが行われました 9/5

深浦町保健センターで2回目のロバ隊長のマスコットづくりが行われました。オレンジ色のロバは認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクターであり、認知症について学んだ小中学生にプレゼントしています。認知症について理解があり、また手芸を趣味としている12名の方が参加し、1時間半程度ロバマスコットやぬいぐるみづくりを行いました。参加者はお茶を飲みながら和やかな雰囲気の中で手芸を楽しみ、「参加して楽しかった。またみんなで作りたい」と感想を語りました。年4回開催予定であり、3回目は12月5日（木）です。興味のある方の参加をお待ちしています。

【問合せ先】 深浦町地域包括支援センター 電話：74-4421

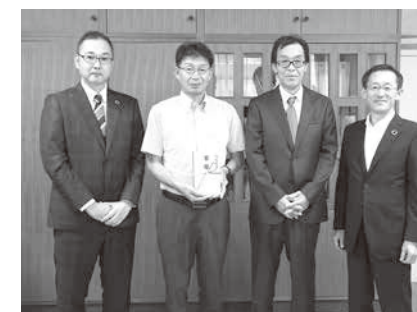
県民対話集会「#あおばな」が開催されました

知事が各地へ出向いて県民の声を聴く対話集会「#あおばな」が風合瀬海岸で開催されました。今年度から町内で海岸清掃活動を行いつつ、災害流木を活用して焚火を楽しむ活動をしているF・F・焚火人の会員が、宮下知事と焚火を囲みながら対話しました。

宮下知事とF・F・焚火人の会員は自己紹介後、流木の処理や町おこし、地域間連携についてそれぞれの思いを語り、宮下知事は時折メモを取りながら耳を傾けていました。対話は終始和やかな雰囲気で行われ、宮下知事は「#あおばな」がきっかけで深浦町の地域振興が進むよう、みんなで頑張っていければと思います」と語りました。



焚火を囲んで宮下知事と対話を行うFF焚火人のメンバー



目録を受け取る小笠原校長（左から北山深浦支店長、小笠原校長、三浦社長、谷津常務執行役員）

深浦小学校へ寄付

青森銀行のSDGs私募債「未来の創造」発行による寄付の贈呈式が、深浦小学校校長室で行われました。

今回の贈呈式では、株式会社三浦建設が発行した私募債の0.2%相当額として、テントやポッチャの用具一式が青森銀行から深浦小学校へ寄贈されました。贈られた寄贈品は、深浦小学校の質の高い教育のために活用される予定です。今回、私募債を発行した三浦建設の三浦社長は「学校行事以外で我々ができることで子どもたちに対して、きっかけを与えることができれば、企業をやる上で一番良い成果だと思っています。将来ある子どもたちのために少しでも役に立てれば幸いです」と語りました。

木のおもちゃの贈呈式が行われました

町では今年度から、新生児の健やかな成長を願うとともに、木の良さを五感で感じる「木育」を通して、木材への親しみや木の文化への理解を深めるきっかけとするため、深浦町産の杉を使用した木のおもちゃ（積み木）を贈呈する事業を始めました。

今回、初めて本事業の対象となった9月8日生まれの一戸海桜（みお）ちゃん（川原町）へ、木のおもちゃの贈呈式が行われました。吉田町長から積み木が手渡され、受け取った一戸夫妻は「いただいた積み木を使って子どもと遊ばせてもらいます。大切に使います。」と感謝していました。



吉田町長から積み木を受け取る一戸夫妻と海桜ちゃん